

Rotary International
2009~2010



ロータリーの未来は
あなたの手に

中村ロータリークラブ

週報(2009~2010)

会 長/佐 竹 義 典	創 立/昭 和 3 8 年 1 0 月 2 日
幹 事/荒 井 浄	例会日/水 曜 日 1 2 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0
会報委員長/黒 石 伸 二	例会場/新 ロ イ ヤ ル ホ テ ル 四 万 十 事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商会館2F
	TEL(0880)35-4551 FAX(0880)35-4553
	●ホームページ http://www.nakamura-rc.com/

週報 No.2134

第2265回 平成21年8月26日(曇り)

本日のプログラム：岡内ガバナー公式訪問(四万十RC合同例会)
9月2日のプログラム：小池 雄一会員 「新型インフルエンザ」
9月9日のプログラム：ゲストスピーチ 佐竹 将太郎様、神原奈甫様

岡内紀雄ガバナー公式訪問

(四万十ロータリークラブ合同例会)

会場：中村プリンスホテル



■ゲスト：岡内 紀雄ガバナー
山崎 啓輔第Ⅱ分区ガバナー補佐
松田 康司随員(高知西RC)
(ビジター) 塩田 修(高知西RC)

11時40分より会長、幹事協議会。
12時30分より四万十RC合同例会開始。
四万十RCの例会進行のため幹事報告、
委員会(出席、SAA等)報告は次週
にします。

バナー交換→



● 本日のプログラム

R I 第2670地区ガバナー 岡内 紀雄様

・今年度、第2670地区ガバナーを仰せつかりました高知西ロータリークラブの岡内紀雄でございます。どうぞよろしくお願ひします。

■「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

今年の1月19日から1週間アメリカのサンディエゴで国際協議会が行われました。今年度R I会長のジョン・ケニーが「ロータリーの未来はあなたの手の中に」というテーマを発表されました。

ロータリーの未来は、個々のロータリークラブによって方向付けられるものです。強いロータリーを守り抜く為に行うことが、ロータリアンとして私達一人ひとりの為になります。ロータリーの将来は一人ひとりのロータリアン、個々のクラブが鍵を握っていることを示唆されました。

さらにロータリーでは、すべてがクラブに始まりクラブに終わります。クラブはどこでどのように奉仕するのが最もよいのかを決める自治権を持たなくてはなりません、とクラブの自主性を強調されております。

また、閉会式にジョン・ケニーは皆さん自分がなぜロータリアンであるのかを決して忘れないようにお願いします。私達がロータリアンであるのは、知性と決意を持った人々が手を取り合えば、多くを成し得ることができるからです。そして、なさねばならないことに果敢に取り組むのがロータリアンです。水、保険と飢餓、



識字率の向上は、私達が焦点を当てるべき課題です。ロータリアンとして私達に何ができるかによって、多くのことが変わってきます。「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あります。と締めくくられました。

■共に楽しむ仲間を増やそう

楽しくなくてはロータリー活動は長続きできません。共に楽しむ仲間を増やしましょう。つまり自発的に楽しくロータリー活動に取り組み喜んで奉仕の機会を見つけていきましょう。今年度の地区運営方針の中に「共に楽しむ仲間を増やそう。目標1クラブ純増1名」の項目を掲げさせていただいております。地区内74クラブからご報告いただいた純増予想数の集計は200名に達しています。純増ゼロまたはマイナスのクラブは一つもなく、大いに前向きで、大変心強く思っております。

■ポリオ撲滅へあと一歩

世界中がポリオの脅威にさらされていたのは、そんなに遠い昔の話ではありま



せん。ポリオが常にある国が125カ国を超えていた当時、この病気で1日1000人もの人々が麻痺障害によって体の自由を奪われ、中には命を落としていく状況の中でその犠牲の多くが子供たちでありました。

1980年代、そうした苦しみから人々を解放しようとロータリーは、民間団体による取り組みとしてはかつてないほど壮大な人道的な計画にのりだしました。こうして、1985年世界中の児童にポリオの予防接種を行う為に、数百万ドルを投じるポリオプラスが発足しました。以来20年間、ロータリーと国際的なパートナーは休むことなく活動を続けています。

ロータリーはポリオのない世界という夢の実現に向けて、これまでに約7億ドルを投入してきました。1985年以来、20億以上の子供たちがポリオの予防接種を受けています。現在ではポリオが常にある国は、ナイジェリア、インド、パキスタン、アフガニスタンの4カ国を残すのみとなりました。世界はポリオの撲滅に限りなく近づいております。しかし、現在ポリオとの闘いで最も懸念される課題は、資金の確保です。ポリオのない世界というロータリーの最優先目標に、ロータリーは2009年7月1日から2012年6月30日までの3年間に2億ドルの資金を集め、国際ロータリーとゲイツ財団は力を合わせて、5億ドル以上を提供することになります。ポリオの撲滅は、子供たちが身体麻痺をわずらったり、死にいたる

ことがなくなることを意味しますが、さらには、ポリオ撲滅活動に費やされている多額の資金を他の保険問題への取り組みに利用することができるようになります。

世界中の子供たちをポリオから守るという歴史的な決断を下してから二十数年たった現在、世界はあと一歩でポリオの脅威から開放されるところまできました。ポリオ撲滅2億ドルチャレンジにご協力下さい。

・最後になりましたが、中村ロータリークラブ、四万十ロータリークラブの益々のご発展とロータリアンの皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を心からお祈りいたしまして私の話を終わります。ご静聴ありがとうございました。

【謝辞】 佐竹義典 中村RC会長

今後のロータリーの活動において指標となる卓話、誠にありがとうございました。

ガバナー公式訪問は年末の12月18日の高知西まで、実に63回の行脚で、本日で21回目とお聞きいたしております。残暑厳しいなか、新型インフルエンザもはやっておりますので、十分な体調管理をお願いいたします。

また、来年3月に開催される地区大会で、ゲストの02-03会長ビチャイ・ラタクル氏とキャスターの櫻井よしこさんのお話を楽しみにしております。

岡内ガバナー、そして四万十クラブの皆様、本日はありがとうございました。



●胸にPHFピン●

会員100%ポール・ハリス・フェロー（PHF）を記念して、当クラブは、会員有志がPHFピンを胸に付けて岡内ガバナーを出迎えた。

田中正会員からの提案。「良い試み」と、即座に荒井幹事が「PHFピンを付けて出席を」と呼びかけたが、例会前日ということで、全員に徹底するのが難しく、今回は「会員各自の判断に任せる」ことに。それでも、10人前後の会員が付けて出席した。今後、再々こういう機会が訪れることも予想されるので、平素から準備を！

●韓国研修生、ペ・ナレさん帰国●

ナレさん、お元気で——。四万十川流域で日韓国際交流に務めてきた韓国からの研修生、ペ・ナレさん(21)が1年間の研修生活を終え、修了証書を手に8月28日に帰国した。

同町と国際奉仕の一環として支援している中村RCなどで組織する「四万十地域国際交流推進協議会」が2005年から受け入れてきた4人目の研修生。ペさんは、四万十町での文化交流の傍ら、四万十市でも韓国語講座を開講するなど、気さくな人柄で会員の間で“愛娘”的な存在だった。

研修終了式を兼ねた同協議会の総会には、大塚、新田、明神、大杉、森の各会員が出席。ペさんは「瞬く間にすぎた1年で、名残惜しい気



がします。ここは第2の古里です」と涙ぐみながらあいさつ。大塚会員（同協議会副会長）が、「また、四万十

市にも帰っておいで。元気で」と花束を贈った。

同協議会は新たな研修生の受け入れを来春まで見送り、新年度から組織を再編して活動する方針。

ペさんは、帰国後も四万十町と韓国高敞（コチャン）郡との姉妹都市締結に向けて協力するほか、インターネットを介して韓国語講座を続ける予定。

.....
【情報委員会】山本 徹 委員長

・ロータリーの10得

- | | |
|-------------|-------------|
| 1) 交流関係が広がる | 6) 顔に品が出てくる |
| 2) 常識が広がる | 7) 几帳面になる |
| 3) 行儀がよくなる | 8) 話題が豊富になる |
| 4) 朗らかになる | 9) 健康になる |
| 5) 社交的になる | 10) 家族が喜ぶ |



THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS

私たち一人ひとは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとなることが出来ます。

2009-10年度国際ロータリー会長 ジョン・ケニー